

活力創造のまち づくりの実現へ

平成30年度
一般会計 決算認定

待たれるスマートインター上り線

決算特別委員会では、各議員から執行状況等に関する多くの質疑がなされました。ここでは、主な質疑を掲載します。

問 スマートインター上り線の進捗状況は。

答 スマートインター上り線は、平成28年度から中間管理事業を行っており、解消につなげていると思います。また、いつでも耕作ができる状態であれば遊休農地から除外しています。

問 遊休農地が減少しているところがあるが、減少しているとは思えないが。

答 平成28年度から中間管理事業を行っており、解消につなげていると思います。また、いつでも耕作ができる状態であれば遊休農地から除外しています。

問 有害鳥獣の個体分析

答 イノシシ・ニホンジカの胃の内容物について、白菜等の野菜は、分析結果からジャガイモ・大豆について報告はありますが、白菜等の葉菜類については形跡がなく、食べていないようです。

問 マイナンバーカードの交付率

答 前年に対して減となっているが、交付率を上げるようPRに努めたいと思います。



問 就労相談業務

答 50代未満の方とその家族が対象で、来所と電話での相談です。平成30年度は、働いた経験が少ない方からの相談が多くなりました。

問 外国人の人口、世帯数

答 3月31日現在147人、94世帯です。町内の企業に雇用されて、転入する外国人が多くなっていると思われます。

問 いじめ、不登校対策

答 いじめ問題については、生徒指導や親の教育等の対応は、まず認知することが大変重要で、認知したものは、全て解消に向け取り組んでいます。また、いじめ・不登校問題については、その芽をできるだけ早く見つけるためにHYPER-QU等を活用しています。



早期開通が待たれるスマートインター上り線

問 重度心身障害者医療費

答 障害者手帳の等級の見直し(再判定)や軽度になった人はいたのか。

問 運転免許証自主返納

答 再判定のケースはありますが、平成30年度に手帳を返還した人や等級が軽度になった人はいませんでした。

問 チャイルドシート購入費補助金

答 減となっているが、少子化の影響と、兄弟等のもので使用している等の要因が考えられます。

問 見玉郡市障害者就労支援センター事業

答 町内の障害者の利用と、就労はできたのか。

問 児童福祉施設

答 利用登録者は34名で、仕事に就いた方は2名です。

平成30年度 特別会計・水道事業会計 決算認定



問 住宅資金貸付事業

答 返済金が少ないが、保証人はいるのか。

問 住宅資金貸付事業

答 保証人はいますが、調査権がなく債務者の返済能力がないことを証明できないため、保証人に請求できません。

賛成討論

平成30年度の一般会計では歳入50億4,284万7千円で、対前年度比3.2%の増、歳出総額は46億750万2千円で対前年度比4.2%の増となりました。

平成30年度の予算額に対する執行率は82.45%となっていますが、これは防災行政無線デジタルシステム更新事業等の繰越予算7億3,489万6千円を含んだもので、この繰越予算を除いた実質の予算執行率は94.94%となり、健全な財政運営が行われています。執行者並びに職員のさらなる努力をお願いし賛成討論とします。

問 禁煙外来治療費助成金



答 6人中4人が成功し、2人が失敗しているが、失敗者はどうなったのか。

問 老人クラブ育成事業

答 役員のなり手がなく、行政がサポートしては、社会福祉協議会とともに考えていきたいと思えます。

反対討論

平成30年度の一般会計の決算は、基金現在高の大幅な増加となっています。いわば美里町の定期預金の増加に等しいことです。一見、健全のように見えますが、「美里町が利益を上げ過ぎている」状態です。この基金充当分の半分を主権者である美里町

住民へ「還元」し、国保税の引き下げ等を行うべきと考えます。水道事業も、平成29年度純利益4,490万円、平成30年度純利益約5,750万円と安定して黒字を出しており、美里町住民へ還元し水道料金の引き下げが可能と思われます。

